

科目名	疾病治療論Ⅳ (運動・神経・筋機能障害)					DP4 DP6		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	17 時間	担当 教員	吉村 豊暢 (8.5) 冬野 誠也 (8.5)		
科目 概要	対象の状態を適切に観察するためには、人間の身体機能が障害された時の病態と症状のつながりや診断と治療を理解し、予測も含めた看護の視点が必要である。看護実践に生かすために運動器・脳神経機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。								
到達 目標	1. 人間の身体の運動器・脳神経機能に障害が起きた場合の病態と症状のつながりを理解することができる。 2. 運動器・脳神経機能障害の代表的な疾患の診断や治療法を理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1～4	運動器疾患		骨疾患（骨折・骨粗鬆症・骨の腫瘍）、関節疾患 筋肉と軟部組織の疾患、診察と計測、主な検査 リハビリテーション				講義	吉村	
5～8	脳・神経疾患		頭部外傷、脳浮腫と頭蓋内圧亢進症、脳血管障害 炎症性疾患、脱髄疾患、変性疾患、脳腫瘍、筋疾患 発作性疾患、中毒性疾患、主な検査、主な治療・処置				講義	冬野	
9	試験		(1 時間)				試験		
評価 基準	吉村 (50 点)、冬野 (50 点) の計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 3 疾病の成り立ち 看護学入門 9 成人看護Ⅱ 看護学入門 10 成人看護Ⅲ 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									